



英語教材を
選ぶ前に
3つの準備



この英語教材がすごい！

3つの準備とは

「自分に合った良質な英語教材を使う」

これは上達に効果的というだけでなく、楽しく継続学習するためにも必要なことです。良い教材を選ぶためには、ふさわしい準備が必要です。

実際に教材を選ぶ前に、次の3点について検討してみましょう。

<英語教材を選ぶ前の3つの準備>

1. 自分の英語力を知る
2. 学習の到達目標を定める
3. 英語の学習法を理解する

上記は一見あたりまえのようですが、意外に見落とされがちなことです。

この3つについて簡単に解説していきます。

1. 自分の英語力を知る

「自分の英語力を知る」

これは教材選びの第一歩です。

英語教材のレベルは様々ですから、自分の英語レベルを知らないと選びようがないのです。

では、英語力はどうやって把握すればいいのでしょうか。

次の3つを考えてみてください。

<英語力を内省で知るための3ポイント>

- ・どのくらいの難易度の英文を読めるか。
- ・どのくらいの難易度の英語音声を聴いて理解できるか。
- ・自分の意志をどのくらい英会話で伝えることができるか。

TOEICなどのテストで実力を計るよりも、率直に上記のことを考えてみた方が案外正確に把握できるものです。

英語素材を使って確かめたいなら、NHKラジオ英語で複数の講座を聴き比べてみるのもよいでしょう。

たとえば「基礎3」のダイアログを聴いて理解できれば、中学レベルの英語力はあるということです。

英語力を把握するときの間違いは、学生時代の成績を元に考えることです。

日本の学校英語というのは、ほとんどの学校で「リーディングスキル」に偏っている上に、試験の問題を解くための勉強です。

そのため、学校でしか英語を勉強したことがないという人は、以下のような傾向をもっています。

- ・英文として読むことはできるが、音声として耳で聞くとほとんどわからない。
- ・自分の意志を伝える簡単な英会話ができない。
- ・単語の発音がデタラメ。
- ・試験問題を解くための文法をやってきたが、自分で正しい文章を作ることができない。

このようなケースでは、学校英語の成績は、英語力を把握するのに役立ちません。たとえ、大学受験をクリアできてても、実用英語としては中学レベルにさえ届いていないことがあります。

学校の成績抜きで、上記の<英語力を内省で知るための3ポイント>を率直に問い直してみてください。

ださい。

2. 学習の到達目標を定める

自分の英語力について検討したら、次は、到達目標を定めます。

到達目標というのは、「どのくらいの英語力を目指すか」ということです。

たまに、「英語が流暢になりたい」「日本語のようにぺらぺらになりたい」という理想的な目標をあげる人がいます。

しかし、そのレベルまでに到達するのにどれほどの時間と労力を必要とするか理解しているでしょうか。

ちょっと極端な例ですが、プロ通訳の中でもトップクラスというのは、基本的にバイリンガル環境で育っている人たちばかりです。つまり、「今から努力する」という発想では到達できないレベルなのです。

弁護士や医者になるのは難しいと誰でも知っていますが、語学に関しては軽視している人が多いように思います。

語学における理想的なレベルというのは、そういった専門職よりはるかに困難と考えてください。

ですから、あくまで自分に相応しい現実的な到達目標を決めましょう。

たとえば、ビジネスでのキャリアアップを目指しているとしましょう。

どのくらいのレベルでしょうか。

A：日本企業で海外出張がこなせるレベル

B：日本企業の海外支社に赴任して現地の人と働くレベル

C：外資企業に現地就職するレベル

AからCまで求められるレベルはまったく異なります。

そのレベルに到達するまでに必要な時間も労力も変わってきます。

(もちろん、それぞれの業務によっても異なるのは言うまでもありません。たとえば、海外出張といっても、定型交渉なのか、市場開拓なのかでも変わってくるでしょう)

ともかく、到達目標を定めないと、これからどの程度の学習が必要なのか目途が立たないことになります。

後々になって変更することは可能ですから、最初に決めておきましょう。

忘れてはいけないのは、その目標レベルにふさわしいだけの時間と精神エネルギーを要求されるということです。その犠牲を覚悟できる範囲内で、より現実的な目標を立てましょう。

3. 英語の学習法を理解する

自分の英語力も把握したし、到達目標も定めた。

次は、最後の準備です。

英語の学習法を徹底的に調べましょう。

教材を買う前に調べてください。

どのように学習するかを知らないと、どの教材を使うべきかは決まらないのです。

重要なのは、学習法について興味をもっているか？ということです。

学習法に興味がないというのは、ほとんど英語学習そのものに興味がないのと同じです。

学習法に興味がない方は、今一度、英語をなぜ学ぶのかについて考えてみた方がいいと思います。

本気で英語に取り組むのであれば、学習法にたいする興味は自然と発生するからです。

英語の教材を選ぶ前に、どうやったら英語が身につくかという学習法を調べるところがスタートラインです。

英語学習法についての書籍はたくさん出ています。

10冊以上は読みましょう。（図書館で借りることもできます）

そして、自分なりにどうやったら英語が身につくかについてイメージをもってください。

もちろん、どれだけ調べたところで、誰にでも通用する完璧な学習法はないと言えます。

第二言語の習得というのは、それ自体が研究分野になっているほど奥の深いテーマですから。

しかし、明らかに失敗しそうな学習（身につかない学習）と、それなりに効果があるとされる学習の区別はつくようになります。ほんの些細な一例を以下に挙げてみましょう。

<失敗しそうな学習>

- ・ 適当な英語フレーズを繰り返す（フレーズ丸暗記）
- ・ わからない英語の音声をただ聞き流す
- ・ わからない英文を目で追って読んだ気になる
- ・ 日本語に訳して終わりの対訳学習

<効果があるとされる学習>

- ・ 声にだして学習する。（リピーティング、シャドーイング、音読）
- ・ 英文を自分で作れる程度の文法は必須。（パターンプラクティス）

- ・アウトプットを持つ。（リハーサル、コミュニケーションティブアプローチ）
- ・やさしい英語を多くの量こなす。

さらなる準備

英語力、到達目標、学習法。

この3ポイントが英語教材を選ぶ前の準備です。

もっと情報が欲しい方は、私たちのHPにぜひお越しください。

以下のサイトで、英語学習および英語教材についての情報発信を行っています。

「この英語教材がすごい！」

<http://eigo.vis.ne.jp/>

・英語トレーニング別 学習法と英語教材

<http://eigo.vis.ne.jp/method/index.htm>

・スキル別の英語教材

<http://eigo.vis.ne.jp/skill/index.htm>

・レベル別の英語教材

<http://eigo.vis.ne.jp/comb/index.htm>

英語教材レビューのリーディングサイトとして、10周年を迎えました。

多くの方から熱い支持をいただけてきました。

本当にありがとうございました。

これからも英語学習者の方々を全力でサポートしていきます！